

事業所名

デイサービス・ステーション中島川

## 支援プログラム

作成日

令和7年

2月

17日

法人（事業所）理念	<p>“愛と信頼、そして幸せ”          ～住み慣れたところでそこに住む人々とともに、いきいきとした生活を送るために～  <b>愛</b>：私たちは、安心、安全、安定を追求するために、目くばり、気くばり、心くばりに努めます。  <b>信頼</b>：私たちは、地域と共に協力し、思いやりのある関係作りを目指します。  <b>幸せ</b>：私たちは、心豊かなゆとりと温もりのある人間関係を育みます。</p>			
支援方針	<p>児童発達支援（0～6歳）では、認可保育園で培ってきたノウハウや経験を活かした療育を行いながら雑学を備えます。放課後等デイサービス（6～18歳）では、介護福祉士、看護師、理学療法士、作業療法士が、それぞれの年齢や発達に応じた療育を行いながら、専門機関や専門職等と連携しながら、切れ目のない総合的な療育を進めます。適切な個別、集団療育を進めることで「頭のチカラ」（創造力、思考力、判断力）、「心のチカラ」（優しさ、感性、自信、協調性）、「体のチカラ」（成長、体力、能力）を軸とした生涯にわたる「生きる力」の基礎作りを行います。</p>			
営業時間	<p>平日 8時 30分から 17時 30分まで          土曜日・祝日 8時 30分から 17時 30分まで</p>	<p>送迎実施の有無</p>	<p>あり なし</p>	
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<p>【健康状態の把握】健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援します。また、健康状態の常なるチェックと必要な対応を行います。その際、意思表示が困難な子どもの障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細やか観察を行います。          【基本的な生活スキルの獲得】身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援します。          【構造化等により生活環境を整える】活動の中で、さまざまな遊びを通して療育できるよう環境を整えます。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化して対応します。</p>		
	運動・感覚	<p>【運動支援】理学療法士による専門的な運動や高齢者と共に集団体操を行う事で、基礎体力をつけ、丈夫で健康な身体を獲得します。          【感覚統合療法】人は五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）と前庭覚、固有覚を合わせた7つの感覚をバランスよく使いながら様々な活動を行います。その積み重ねによって複雑な行動や対応ができるようになります。その土台となる感覚が育つよう支援します。</p>		
	認知・行動	<p>【学習支援】個々の支援プログラムに沿って支援します。できることを少しずつ増やし、成功体験を味わうことで、達成感や自信につなげていきます。          【作業療法】作業療法士が個別療育にて、認知機能や感覚統合の発達を促すよう支援を行います。          【認知の偏りへの対応】認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行います。          【行動障害への予防及び対応】感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行います。          【感覚や認知の活用】視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。</p>		
	言語 コミュニケーション	<p>【人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得】個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行います。          【コミュニケーション機器の活用】各種の文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援します。          【指差し、身振り、サイン等の活用】指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。          【読み書き能力の向上のための支援】活動を通して子どもたちに、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行います。</p>		
	人間関係 社会性	<p>【ソーシャルスキルトレーニング】対人関係や社会生活を営むために必要なスキルを身に付けることができるよう支援します。          【ビジョントレーニング】見ることに関連する様々な力や機能を向上させ、生活や学習上の問題の改善やイメージ通りに体を動かすことができるよう支援します。          【自己の理解とコントロールのための支援】大人を介して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援します。          【集団への参加への支援】集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援します。          【アタッチメント（愛着行動）の形成】人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。          【模倣行動の支援】遊び等を通して人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援します。          【感覚運動遊びから象徴遊びへの支援】感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。</p>		
家族支援	<p>本人のコミュニケーションや判断する仕草等を、個別支援の場面の観察や手帳等の連絡ツールや面談の機会などを通じてお伝えし、共有を行います。</p>	移行支援	<p>・必要に応じて保育園を訪問し、行事など、普段と異なる活動の際の子どもの関わりについて、具体的な関わり方のモデルを示していきます。          ・保育園や学校の連絡と当事業所の連絡内容を相互に確認し、日々の様子を観察を交換していきます。</p>	
地域支援・地域連携	<p>・長崎独自の文化（おくんち、竹ん芸、帆船祭りなど）を知り、保育園、小学校などの教育施設や高齢者施設との交流を通して、あらゆることに興味・関心を持ち、楽しみながら様々な経験を積み重ねていきます。          ・必要に応じて連携会議を定期的に開催し、情報収集・役割分担について協議していきます。          ・各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面での子どもとの関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言を行います。</p>	職員の質の向上	<p>・定期的に職員に対する研修を実施し、個々の知識等のスキルアップを図ります。          ・職員会議を実施し、療育内容や業務の改善など情報収集や共有を行い質の向上に努めます。</p>	
主な行事等	<p>学習支援（宿題・自由研究など）造形・廃材あそび（木工・夏祭り製作・粘土あそび・段ボール工作・折り紙・パチンコ作りなど）          集団レク（ボール、棒、セラバンド、ラダー、脳トレ）          行事イベント（外食、花見、夏祭り、運動会、クリスマス会、初詣等）</p>			